

全学 HP 構築支援プロジェクト活動報告

○齊藤由明^{3*}、飯塚武志^{2*}、南雲浩二^{2*}、佐藤甲輔^{1*}、戸島基貴^{3*}、畠山健^{1*}
引間俊文^{1*}、曾山雅史^{2*}

¹機械建設系、²電気電子情報系、³物質・生命科学系

1. はじめに

ホームページ(HP)は情報発信の主要なツールとして幅広く利用され、埼玉大学でもホットな情報を随時発信しています。トップページからは様々な部署の HP にリンクが張られており、部署毎に管理・運営されています。これらの業務は主に事務職員が担当しています。しかし、本学の HP は外注で作成された物が多く、更新作業が思うようにいかず、管理者から更新の手助けを依頼されるケースが多くなりました。そこで、総合技術支援センターではホームページ管理・運営に携わってきた技術職員を中心に「全学 HP 構築支援プロジェクト」を起ち上げました。当プロジェクトは、8名のメンバーで全学のホームページ構築に関わる事案を技術的にサポートしています。

2. 依頼内容と活動状況

当プロジェクトが受ける依頼は、文書(コンテンツ)の書き換え、CGIプログラムを利用したデータの収集、CMSを使ったHPの構築などです。今年度の活動からサポート内容を簡単に報告いたします。

2-1 HTMLの書き換え

HP(Webサイト)はHTML(HyperText Markup Language)を用いて記述した文書で作成されています。HTMLは文書の一部を“<”と“>”で挟まれた「タグ」と呼ばれる特別な文字列で囲うことにより、文章の構造や修飾についての情報を文書に埋め込んで記述することができます。このため、一般の文書より複雑になっています。我々に寄せられた相談として、

・行事を目立たせるためにバナーを入れたいがCMS(説明は後述)で管理しているため設

定の方法がわからない。

・HTMLの記述を書き換えた则表示がおかしくなり元に戻らない。

などの事例があり、これらに対応しました。

図1に更新されたHP(赤丸)とHTMLソースファイルを記します。ソースファイルは細かくて見えませんが複雑であることは理解できると思います。



図1. 図書館のHPとHTMLソースファイル

2-2 CGIプログラムを利用したデータの収集

大学の行事であるホームカミングデー・埼玉大学基金・新人採用面接試験の参加者・賛同者・受験者を募るためのフォームとCGIプログラムを作成しました(図2)。CGIプログラムはWebサーバ上で動作するもので、ここではフォームから送信されたデータをデータベースに登録すると同時に登録者にお知らせのE-Mailを送信します。

CGI導入以前は電話で対応したり、受け付けたデータをパソコンに入力して電子ファイ

ルを作成したりしていたので、事務作業の軽減、効率化に大いに役立ったとのことでした。



図 2.埼玉大学基金寄付手続画面とデータベース管理画面

2-3 CMS を使った HP の構築

CMS (Content Management System) とは Web コンテンツを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理し、サイトを構築したり編集したりするソフトウェアのことです。CMS を利用すると HTML を詳しく知らなくても Web コンテンツを作成し、Web サイトを管理することができます。今年度は CMS を利用して HP を構築する依頼を受け対応いたしました(図 3)。

最近では学生後援会 HP 構築の依頼があり、担当部署と打ち合わせを行っております。

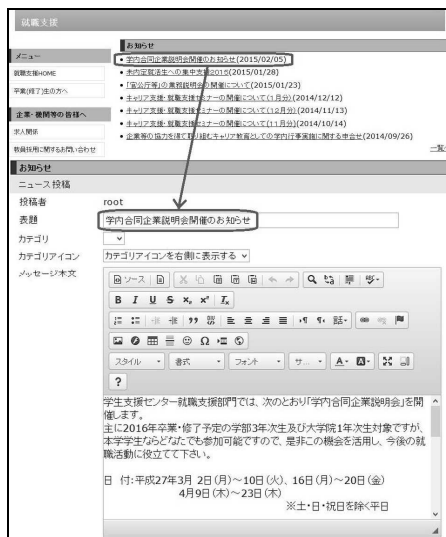


図 3.CMS を利用したコンテンツと CMS での編集例 (お知らせ投稿画面)

2-4 その他各種支援

その他ではセキュリティホールの改善、Web 関連ソフトの利用方法指南、新規 HP を業者に委託するときの打ち合わせに参加して事務系職員と業者の間に立ち技術的なサポートを行ったこともあります。

3. おわりに

我々の活動は図 4 のような概念図で表せると考えます。すなわち、ホームページの構築には HTML の理解、動的コンテンツを作成するための CGI、PHP 等のプログラムの理解、さらにはデータベースシステムを構築するための各ツールの理解などが必要です。今後も様々な部署からの依頼に対応するため日々研鑽していこうと考えています。

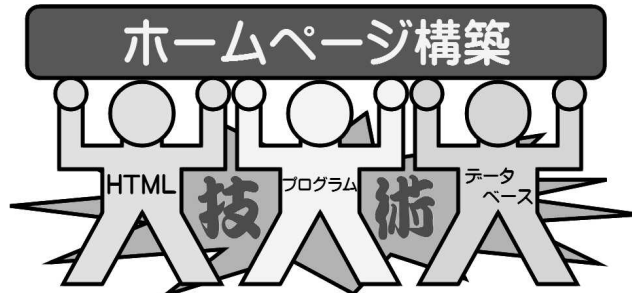


図 4.プロジェクトの概念図

参考文献

IT 用語辞典 e-Words (<http://e-words.jp/>)